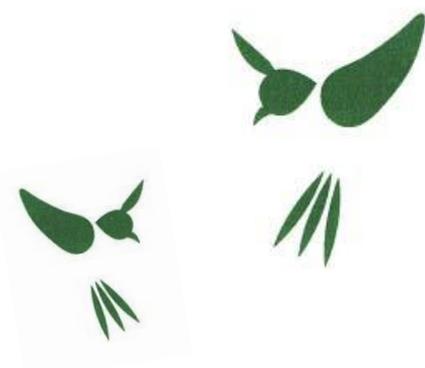


令和5年度（令和4年度対象）

# 教育に関する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価報告書



令和5年8月

松野町教育に関する事務の点検・評価委員会

# 教育に関する事務の点検及び評価について

## 1 評価委員会の概要

地方教育行政の組織および運営に関する法律第26条に基づき、松野町教育委員会が事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、そのことについて外部評価委員会が点検・評価を行って、報告書としてまとめる。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出する。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

<評価委員>      山口 真理子      松野町大字延野々1125番地  
                    加藤 仁美      松野町大字蕨生1731番地  
                    長谷 信昭      松野町大字吉野2926番地  
                    坂本 保        松野町大字目黒475番地

<委員会の開催状況>

第1回 令和5年7月19日（水）「執行状況の点検・評価について協議」  
第2回 令和5年8月4日（金）「執行状況の点検・評価について協議」  
第3回 令和5年8月24日（木）「評価についてまとめ」

## 2 評価基準

施策が計画どおり達成している

施策が計画どおり概ね達成している

計画は未達成だが達成に向かって進んでいる

達成できず課題がある

## 3 評価

教育委員会実施の自己点検・評価については、概ね適正であると考えます。

自己点検評価について、報告書のとおり評価と意見を申し上げます。

「ふるさと松野を守り育てることのできる子どもを育む」という基本理念に基づき、児童・生徒に寄り添いながら着実に事業が推進されています。教育を取り巻く環境の多様化に順応しつつ、地域資源を活かした特色ある取組が実践され、成果が上がっており評価できます。

令和5年度（令和4年度対象）教育に関する事務の管理と執行状況の点検・評価

業務名	事務の執行状況及び自己評価 考察（○成果 ●課題）◆改善方策	評価 ○評価委員の意見
1 教育総務	<p>○新型コロナウイルス感染症対策によって、各施設の運営や行事の開催等に関連して適切な対応を行うことができた。</p> <p>◆今後も状況の変化に応じて迅速な対策が必要である。</p>	<p><b>評価：達成している</b></p> <p>○新型コロナウイルス感染状況に波があって先が読めない状況下、可能なものはもとの形に近づけていく努力が行われており、事業に応じた対応ができています。</p>
2 学校教育の推進	<p>○学校運営協議会を開催し、各学校の運営計画に対する委員の意見の集約や、学校運営状況等についての評価を受けた。</p> <p>○学校の教育活動を支援するため学校支援ボランティアを募集し、令和5年度の活動に向け49名の登録があった。</p> <p>○町内資源を活用した滑床集団宿泊研修を町内小学校5年生を対象に実施した。</p> <p>○1人1台のタブレット端末を授業で活用する他、学習支援アプリの試験導入により、小・中学校においては家庭への持ち帰りを実施した。</p> <p>◆授業での活用については教員間で差があるため、教員向けの研修を実施したい。</p>	<p><b>評価：達成している</b></p> <p>○滑床集団宿泊研修は、町内資源を活用したよい取組である。</p> <p>○タブレット端末の指導には技術的な差が生じやすく、研修の実施はもちろん、使用に慣れていくことが重要である。</p> <p>○タブレット端末の持ち帰りにトラブルが生じないよう注意してほしい。</p>

業務名	事務の執行状況及び自己評価 考察（○成果 ●課題）◆改善方策	評価 ○評価委員の意見
3 生涯学習の推進	<p>○第50期卒業生対象の成人式を1月3日に新庁舎にて開催した。</p> <p>○新庁舎や吉野生公民館ロビーの図書コーナーでは、利用者の便益を図るため、要望に応じた図書の購入や県立図書館との連携を行い図書の入れ替えに努めた。</p> <p>●過疎化や住民の高齢化に伴い、公民館活動全般において維持が困難な状況にある。</p>	<p><b>評価：概ね達成している</b></p> <p>○新庁舎の図書コーナーが19時まで使用できるのは便利である。</p> <p>○吉野生地区公民館では事業が多く、活発な活動が行われている。</p>
4 人権・同和教育の推進	<p>○森の国人権の集いでは、部落問題をはじめあらゆる差別を身近な問題として捉えられるよう、あおぞら子ども会の発表やパネルディスカッションのパネリストを人権・同和教育主任やPTAから選定、身近なことをテーマに実施した。</p> <p>○あおぞら子ども会では、引き続きコロナ禍での制限により対外的な活動は自粛せざるを得なかったが、地域の中から学習テーマとしてジビエを取り上げ、人権の視点から学びを深めるとともに、愛媛県人権教育協議会主催の「部落差別解消をめざす動画メッセージ」を製作し、3年連続優秀作品に選定された。</p> <p>○行政職員を対象とした人権学習会を実施し、グループワークでは職員同士で考え、意見する様子が見られた。</p> <p>●引き続き住民への啓発活動及び行政職員の研修を拡充する必要がある。</p>	<p><b>評価：概ね達成している</b></p> <p>○人権の集いは、方法や内容が考慮されており、指導者や担当者の熱意を感じる。</p> <p>○あおぞら子ども会の活動では、積極的な学びが行われており、評価できる。</p>
5 生涯スポーツの推進	<p>○まつの桃源郷マラソン大会オンライン2023を開催し、267名の参加に止まったが、参加者には地域との交流が図れる大会として高評価であった。</p> <p>○スポーツタウン事業の一環として、5月・10月・2月にそれぞれ1か月間で、オンラインのラン&amp;ウォークイベントを企画し好評を得た。</p> <p>●分館対抗スポーツフェスティバルは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止した。</p> <p>○駅伝大会については、区間及び距離数を削減するとともに、コースや選手構成についても変更し、大会を維持できるよう努めた。</p>	<p><b>評価：概ね達成している</b></p> <p>○駅伝大会は、過疎化等の影響を考慮した変更が行われており、評価できる。今後も引き続き検討をお願いしたい。</p> <p>○桃源郷マラソン大会は、のどかな景観の中をゆっくりと走って楽しめそうな魅力あるイベントとなっている。</p> <p>○桃源郷マラソン大会は、これまでのような大会の開催が行われていないのが残念だという意見もある。</p>

業務名	事務の執行状況及び自己評価 考察（○成果 ●課題）◆改善方策	評価 ○評価委員の意見
6 文化財保存活用の推進	<p>○町指定文化財として「木造地藏菩薩立像」の新規指定を行うとともに、森の国まつりの遺産の第1号として「芝不器男の俳句及び直筆短冊」を新規に認定した。</p> <p>○史跡河後森城跡環境整備事業のなかで、西部ゾーンにある西第十曲輪南部斜面の環境整備工事を実施し、来城者が史跡の価値を理解できるような環境を整備することができた。</p> <p>○令和3年度に刊行した芝家文書調査報告書の成果に基づく報告会を開催し、専門家による講演会や史料の展示を行った。</p> <p>○町内小学生を対象に郷土学習「森の国山城学」と「おくうち棚田学」を実施し、体験学習を通して地域の歴史文化に触れる機会になったと同時に郷土愛の醸成につながった。</p> <p>●史跡河後森城跡発掘調査成果の早期の取りまとめや重要文化的景観の整備・活用に関する事業の円滑な推進が急務となっており、さらなる専門職員の充実が必要である。</p> <p>◆文化財の学術的な調査成果については、より分かりやすい形で価値を伝えていくための継続的な取組が必要である。</p>	<p><b>評価：概ね達成している</b></p> <p>○森の国まつりの遺産第1号に認定された芝不器男に関しては、今後も顕彰に力を入れてほしい。</p> <p>○小学生の郷土学習は、子どもたちがふるさとを知り、郷土の先人の努力を学ぶよい機会となっている。</p> <p>○芝家文書の調査報告会が計画どおり行われており、課題に応じた必要な対応が図られている。</p>
7 文化行政の推進	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しつつ、規模をやや縮小した形で文化祭を開催した。各種作品展、芸能大会、教育文化展等を行い、会員等の日頃の文化活動の成果を発表する機会を持つことができた。</p> <p>●文化協会において、活動に対する補助事業を設けているが、利用実績が少なく、引き続き周知を図り団体の活性化に努めたい。</p> <p>○第69回不器男忌俳句大会を開催し、一般部門942句、高校生部門430句、中学生部門420句、小学生高学年部門529句、小学生低学年以下部門455句の投句を得た。当日は講演会のほか、各部門の句評、表彰等を実施した。</p> <p>○不器男記念館・目黒ふるさと館を中心に町内観光施設とも連携して「四万十街道ひなまつり」を実施した。不器男記念館では、ガラス製雛人形、打掛、保育園児の手作り雛人形等の展示を、目黒ふるさと館では、明治、大正、昭和、平成の雛人形の展示を行った。</p> <p>○俳句の小径の再整備に伴い、利用者の活用を考慮して、句碑移転や修繕、解説板の設置を行うとともに、リーフレットの刷新や音声ガイドの追加作成を行った。</p> <p>○不器男記念館では、専門家に活用企画業務を委託し、館内所蔵資料の調査・研究をはじめ、講座やウォーキング、来館者対応などの普及・啓発活動を行った。</p>	<p><b>評価：概ね達成している</b></p> <p>○不器男記念館における活用企画業務の委託は、館運営における専門性の確保という点で重要である。</p>